

## 日本忍者協議会設立趣意書

近年、日本の特色ある文化やサービスを「クールジャパン」として海外に紹介し、日本の新たな経済成長につなげようとする動きが活発化しています。

日本を代表するクールコンテンツと言えば、文学、映画、アニメ、ゲーム等にも数多く登場する「忍者」を挙げることができます。

「忍者」(NINJA)はわが国固有の文化資産であり、今や国際語となって世界中でその存在感を高めています。最近では、大学において「忍術学」としてその歴史的な研究や文学、アニメ等における忍者の研究も始まり、研究書も多数出版されるようになりました。また、「忍者コスプレイヤー」のような新たな忍者観も注目を集めています。

「忍者」は戦国時代がもっとも活躍した時代で、全国各地の戦国大名を陰で支えていました。現代では「忍者」は地域振興や町おこし、観光や商業で活躍し、全国各地で「忍者」に関連するさまざまな事業が行われています。

本協議会は、2020年に開催が決定している東京オリンピック・パラリンピックを見据えた全国的な観光戦略の一翼を「忍者」が担うものとして、国や自治体、民間団体が連携して国内外の観光客を集客し、地域経済の活性化を図ることを目的とします。また、忍者の全国的なネットワークを構築して、国内外での情報発信を行うと共に、「忍者の日」、「忍者サミット」などのイベントを連携して開催してゆきます。

今後は、【忍者＝日本固有の文化資産】としてのブランディング化も国内外へ向けて進めてまいります。